歴史から学び、郷土を大切に思う心を育む

ネイパル北見

ネイパル歴史探検隊

1　事業のねらい

オホーツクの歴史について様々な体験活動を通して学び、歴史から学んだことを現代生活に生かす力を養うとともに、郷土を大切に思う心を育む。

2　事業の概要

■期日　R６.10.19(土)～20(日)　１泊２日
■対象　小学校３年生～中学３年生
■人数　10 名
■場所　ネイパル北見、ところ遺跡の森、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設

3　プログラム

日時	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
10月19日（土）	【受付】ネイパル北見 9：00～9：30			絵本読み聞かせ / 開会式	オリエンテーション	【晴天時：常呂町内】常呂遺跡サイクリングツアー / 【荒天時：遺跡の森】遺跡の森探検＆体験学習			縄文土器の縄づくりに挑戦	縄文土器づくり	移動	夕食	入浴	自由時間	就寝準備	就寝
10月20日（日）	起床洗面	朝食	部屋点検	移動	竪穴式住居で火起こし体験	土器展示	特別講話	閉会式	【解散】ところ埋蔵文化財センター 11：30							

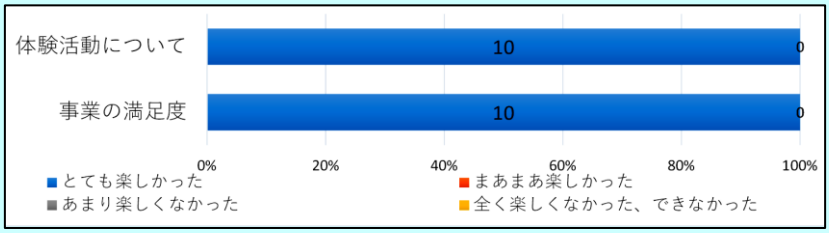
4　ねらいを達成するための活動の工夫

■オホーツクの歴史について学ぶ様々な体験活動
・「常呂遺跡サイクリングツアー」「縄文土器、縄づくり」「竪穴式住居で火起こし体験」など、歴史を遺跡等で実際に体験しながら学ぶ活動を設定した。
■地域の施設や団体と連携した事業
・「ところ遺跡の森」「東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設」「常呂図書館ボランティアところころりん」「常呂高校の地域学習」と連携し、読み聞かせや、講話など、多角的に参加者が郷土を知ることができるように工夫した。

本物の縄文土器を見ながら土器づくり

東京大学の熊木教授による特別講話

5　事業の評価



■参加者アンケートから
活動内容と事業の満足度について 100％肯定的な評価を得ることができた。
■「黒曜石の切れ味がわかった」「火起こし体験が良い経験となった」等の声があった。

6　ねらいを踏まえた成果と課題

●常呂遺跡の森と共催することで、実際の土器を見ながらオリジナル土器の作製や、竪穴式住居の中で火起こしをするなど、昔の人々の暮らしに想いを馳せながら活動をすることができた。
○当日は悪天候で予定していたサイクリングツアーができなかった。荒天時にも対応できるプログラムや、遺跡の見学がしやすい季節に実施するなど工夫が必要である。

企画のポイント

博物施設で実際の出土品等を見ながら行う体験活動と、地域の方々と連携し地域資源を生かしたプログラムの設定